

株式会社街づくりまんぼう

- (1) 情報公開シートⅠ（P D C Aサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡの補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録（作成していないため不添付）
- (12) 事業計画書

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 平成 30 年 6 月 28 日

市所管部署 石巻市 産業部商工課

2 法人名称等

法人名称 株式会社街づくりまんぼう
 法人所在地 石巻市 中瀬2番7号
 設立年月日 平成 13 年 2 月 5 日
 代表者職・氏名 代表取締役 西條允敏

設立目的・経過

「人の光が街をかえる」を経営理念とし、宮城県石巻市の中心市街地52ヘクタールの商業活性化を中心とした街づくり活動にとどまらず、広く公益的な立場のもとに、「まちおこし」「産業振興」「人材育成」を果たし石巻市全体の活性化に貢献することを目的とする。

3 定款上の事業内容

- (1) まちづくりに関する企画立案、調査ならびにコンサルタント業務
- (2) 商業振興を図るための企画、指導及び情報提供ならびにコンサルタント業務
- (3) 観光、会議、集会等施設、駐車場、店舗その他施設の企画、建設及び運営業務
- (4) マングキャラクター商品、出版物の企画、制作及び販売
- (5) 喫茶店、レストランの経営 ほか

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
63,000 千円	30,000 千円	47.6 %	個人	1,700 千円	2.7 %
			石巻商工会議所	1,000 千円	1.6 %
			石巻信用金庫	1,000 千円	1.6 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	H27期末	H28期末	H29期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	12	12	12
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0
計	13	13	13
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員

	H27期末	H28期末	H29期末
常勤	25	20	21
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	25	20	21
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

株式会社街づくりまんぼうは、中心市街地52ヘクタールの商業活性化はもとより、公益的な立場のもと、観光、農林水産業をふくむ地域産業の活性化や街づくりを推進するために、自らの収益力を高め石巻市全体の活性化に貢献することを目的としています。

(事業方針)

1. 経営理念である「人の光が街をかえる」を合言葉に、明るく活力のある運営をします。
2. 人の和をたいせつにしながらも、規律のある心構えをもちます。
3. まちおこし、産業振興、人材育成を果たすため、収益性を高める努力を惜しみません。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度期
石ノ森萬画館 有料入館者数	人	目標 計画	78,500	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	82,520	83,790			
目標・指標の説明		かわまちエリアを中心に新しい施設が完成しており、それらと連携して数多くのイベントを開催し、来館者の動機づけを促す。合わせてHPやSNSを活用した情報発信に強化し来館者の誘客に努める。					
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度期
石ノ森萬画館 入館料売上高	千円	目標 計画	58,090	60,000	60,000	60,000	60,000
		実績	64,566	65,201			
目標・指標の説明		来館者の有料観覧者率を上げ、萬画館観覧料収入の安定化を図る。また観覧料収入以外の収入の方法を模索する。					
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
石ノ森萬画館 運営事業	数多くのイベントを開催し、同時にSNSでの情報発信やマスコミ等への露出を増やし来館していただくためのきっかけづくりを行った。また当館でしか観ることができないオリジナリティのある企画展を開催したことが来館者の増加につながり、対前年比で総来館者数103.1%、有料観覧者数101.5%となった。	震災から7年が経過して「被災地離れ」が進んでいることを感じながらも、今もなお全国からたくさんの支援をいただいている。その支援に対し常に“感謝の気持ち”を持ってお客様に接してきた。今後の見通しとしては定住人口の減少が見込まれているが、周辺施設や地域住民と連携して交流人口の増加に努めていきたい。	数多くのイベントを開催することで集客へつなげた。またSNSでの情報発信やマスコミ等への露出を増やし、来館していただくためのきっかけづくりを行った。その結果、観光関連企業のデータでは石巻への入込客数は20~25%ダウンと言われている中、来館者の減少を最小限に留められたと考えている。
事業の公共性、 公益性	石ノ森萬画館への集客を行い、来館者に市街地への周遊を促している。さらに石巻市はもとより関連機関と連携した企画や広報・営業活動を行い、石巻圏域への観光客増加を図っている。		

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
街中復興 推進事業	昨年6月に待望の「いしのまき元気いちば」がオープンし、11月には「かわまち立体駐車場」が供用開始となった。また橋通りCOMMONもリニューアルオープンし「かわまちエリア」は大きな変貌を遂げた。これらをきっかけに周辺の施設や店舗、および多くの機関や団体とより一層連携し市街地の賑わい創出に貢献できたと考えている。	震災復興計画の「発展期」に入り様々な施設や設備等が整ってきました。今後はこれらをどうやって活用していくのが重要になってきます。かわまちエリアを中心に関連施設や地域住民と連携・協力し、地域の活性化に努めていきたい。	市街地復興の早期実現をすべく、商店街の復興事業や(仮称)生鮮マーケット等への支援を積極的に行った。特に中央一大通り商店街と共同で復興住宅建設のサポートをはじめ、「まちかぐプロジェクト」「中央一まちびらき式」などの様々な企画を行ってきたが、これらの取り組みが認められ都市景観大賞を受賞した。
事業の公共性、 公益性	関連施設や地域住民の方々と連例を図りながら、市街地の復旧復興に向けた事業を行っている。		

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	株式会社街づくりまんぼう
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
	流動資産	148,166	125,079	▲ 23,087	130,213	5,134
うち 現金・預金	87,809	73,607	▲ 14,202	91,201	17,594	
固定資産	19,650	16,601	▲ 3,049	15,899	▲ 702	
有形固定資産	8,603	4,554	▲ 4,049	4,897	343	
無形固定資産	20	20		20		
投資その他の資産	11,027	12,027	1,000	10,982	▲ 1,045	
資産の合計	167,816	141,680	▲ 26,136	146,112	4,432	
貸方（科目）	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減	
流動負債	50,880	25,086	▲ 25,794	27,989	2,903	
うち 一年以内返済長期借入金	2,400	2,400		2,400		
固定負債	6,800	4,400	▲ 2,400	2,200	▲ 2,200	
うち 長期借入金	6,800	4,400	▲ 2,400	2,200	▲ 2,200	
負債合計	57,680	29,486	▲ 28,194	30,189	703	
純資産	110,136	112,194	2,058	115,923	3,729	
うち 資本金	63,000	63,000		63,000		
うち 資本剰余金						
うち 利益剰余金	65,486	67,544	2,058	71,273	3,729	
うち その他	▲ 18,350	▲ 18,350		▲ 18,350		
負債・純資産の部合計	167,816	141,680	▲ 26,136	146,112	4,432	
損益計算書（P/L）	科目	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
	売上高	311,778	263,179	▲ 48,599	258,981	▲ 4,198
	売上原価	198,072	193,016	▲ 5,056	185,022	▲ 7,994
	売上利益	113,706	70,163	▲ 43,543	73,959	3,796
	販売費・一般管理費	112,247	67,681	▲ 44,566	73,831	6,150
	営業利益	1,459	2,482	1,023	128	▲ 2,354
	営業外収益	786	607	▲ 179	4,453	3,846
	営業外費用	278	203	▲ 75	128	▲ 75
	経常利益	1,967	2,886	919	4,453	1,567
	特別利益	460	346	▲ 114	948	602
	特別損失		158	158		▲ 158
	税引前当期純利益	2,427	3,074	647	5,401	2,327
	法人税等	1,472	1,017	▲ 455	1,673	656
	当期純利益	955	2,057	1,102	3,728	1,671

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
	営業活動によるキャッシュフロー	18,933	▲ 10,184	▲ 29,117	20,613
税引前当期純利益	2,428	3,074	646	5,402	2,328
減価償却費	16,189	4,667	▲ 11,522	2,260	▲ 2,407
有形固定資産売却益				▲ 738	▲ 738
受取利息及び受取配当金	▲ 18	▲ 6	12	▲ 3	3
売上債権の増加額（減少額）	▲ 8,969	10,989	19,958	9,359	▲ 1,630
棚卸資産の増加額（減少額）	▲ 1,157	▲ 2,160	▲ 1,003	3,100	5,260
仕入債務の増加額（減少額）	▲ 148	385	533	▲ 2,082	▲ 2,467
その他流動資産の増加額（減少額）	8,528	56	▲ 8,472		▲ 56
その他流動負債の増加額（減少額）	3,094	▲ 25,928	▲ 29,022	4,102	30,030
利息及び配当金の受取額	18	6	▲ 12	3	▲ 3
法人税等の支払額	▲ 1,032	▲ 1,267	▲ 235	▲ 790	477
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,489	▲ 1,618	▲ 129	▲ 820	798
有形固定資産の取得による支出	▲ 989	▲ 618	371	▲ 2,603	▲ 1,985
有形固定資産の減少額				738	738
その他投資	▲ 500	▲ 1,000	▲ 500	1,045	2,045
財務活動によるキャッシュフロー	600	▲ 2,400	▲ 3,000	▲ 2,200	200
株式の発行による収入	3,000		▲ 3,000		
資金の借入による収入					
借入金の返済による支出	▲ 2,400	▲ 2,400		▲ 2,200	200
現金及び現金同等物に係る換算差額					
現金及び現金同等物の増減額	18,044	▲ 14,202	▲ 32,246	17,593	31,795
現金及び現金同等物期首残高	69,766	87,810	18,044	73,608	▲ 14,202
現金及び現金同等物期末残高	87,810	73,608	▲ 14,202	91,201	17,593

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）					
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）					
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）					
委託料及び指定管理料	91,610	55,000	▲ 36,610	55,000	
借入金（期末残高）					
短期借入金					
長期借入金					
出資・出捐（期末時）					
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社街づくりまんぼう

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

橋通りCOMMONのテナントで発生した火災に係る保険金3,594千円を受け取ったこと、東北地方整備局からの運営委託金（水辺の復興みらい館）の未収額7,333千円を受け取ったこと及び税引前当期純利益5,401千円を計上したこと等により、現金及び預金が昨年度末と比べて17,593千円増加した。また橋通りCOMMON事業に係る借入金の返済については、引き続き約定どおりに行われており、資金繰りについて問題は生じていない。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
現金及び預金	17,593千円の増加	総括分析参照
未収入金	8,893千円の減少	姫路市に対する業務委託料の回収等
保証金	1,000千円の減少	姫路市に対する業務委託保証金の返金

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

橋通りCOMMON等の修繕により修繕費が2,896千円、また姫路での展覧会連動イベント等の実施によりイベント経費が2,517千円増加した。結果、営業利益が昨年より2,353千円減少した。また上記保険金3,594千円を受け取ったことにより、経常利益が昨年より1,568千円増加した。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
修繕費	2,896千円の増加	総括分析参照
イベント経費	2,517千円の増加	総括分析参照
雑収入	3,848千円の増加	総括分析参照

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

・売上債権の減少額及び棚卸資産の減少額等により、「営業活動に係るキャッシュ・フロー」が20,613千円増加した。
 ・有形固定資産の取得による支出等により、「投資活動に係るキャッシュ・フロー」が820千円減少した。
 ・借入金の返済による支出により、「財務活動に係るキャッシュ・フロー」が2,200千円減少した。

以上より、平成29年度（自：平成29年4月1日 至平成30年3月31日）における現金及び現金同等物の増加額は、17,593千円となった。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
石ノ森萬画館指定管理料	55,000,000	石ノ森萬画館の指定管理

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：株式会社街づくりまんぼう

担当部署名：産業部商工課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

平成29年度の石ノ森萬画館有料入館者数と入館料売上高は、目標値及び前年度の実績値を上回っており、良好な経営状況である。

今後、様々なイベントやホームページ、SNSを活用した情報発信等を実施し、来館者の誘客に努めていただき、震災前の水準（平成22年度：有料入館者数78,673人、入館料売上高60,606千円）を維持、または上回る数値を目指していただきたい。

（2）主要事業の成果、課題

石ノ森萬画館運営事業では、様々なイベントの開催やSNSでの情報発信等に取り組まれた結果、石ノ森萬画館有料入館者数及び、入館料売上高ともに前年度の実績値を上回った。

街中復興推進事業では、昨年完成した「いしのまき元気いちば」及び「石巻市かわまち立体駐車場」、リニューアルした「COMMON-SHIP橋通り」などをきっかけに周辺施設や店舗との連携が図られたと考えられる。今後さらに「かわまちエリア」の整備が進展していくため、それらの施設をどのように活かし、街なかに賑わいをもたらすかが大きな課題となっているため、さらなる発展・達成に向け随意取り組んでいただきたい。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

特になし

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

特になし

(3) キャッシュフロー計算書

特になし

(4) 市による財政・金融支援等

特になし

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

公益的な立場のもと、中心市街地の産業活性化や賑わい創出、地域産業の活性化、集客力のあるイベントの開催、魅力ある商品開発の推進などの各種事業を実施することにより、TMOとして中心市街地全体のマネジメントを行う役割を期待する。